

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境			0.40					3.3
1 音環境		3.0	0.15	-	-			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1 1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 1 開口部遮音性能		3.0	0.30	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.30	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 1 室温		3.0	0.60	3.0	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		3.3	0.25	-	-			3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	-	-			
1 1 昼光率	昼光率4.0%	5.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
1 1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気環境		3.9	0.25	-	-			3.9
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 1 化学汚染物質	F の内装材をほぼ全面的に使用している	4.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	-	-			
1 1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御	建物全体が禁煙	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.5
1 機能性		3.7	0.40	-	-			3.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			
1 1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	-	-			
1 1 広さ感・景観	教室の天井高2.8m	5.0	0.50	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		3.0	0.50	-	-			
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-			
1 1 維持管理に配慮した設計	汚れ防止塗料や外部鉄部の亜鉛めっき等	5.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	各所に掃除用具庫の設置、点検口600	4.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.6	0.31	-	-			3.6
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-			
1 1 耐震性	基準法に対し25%増しの耐震性	4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.33	-	-			
1 1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	20年以上の更新必要間隔の材料の使用	5.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水塩ビライニング鋼管、排水硬質塩化ビニル管を使用しEは不使用	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	3.4	0.19	-	-	-
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	-
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	-
	4	機械・配管支持方法	4.0	0.20	-	-	-
	5	通信・情報設備	4.0	0.20	-	-	-
耐震クラスA 機器の地下への設置を避ける							
3 対応性・更新性			3.1	0.29	-	-	3.1
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	3.4	0.31	-	-	-
	2	空間の形状・自由さ	3.0	0.60	3.0	-	-
壁長さ比率 = 0.27			4.0	0.40	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	-
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性	3.0	0.38	-	-	-
	2	給排水管の更新性	3.0	0.17	-	-	-
	3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-	-
	4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	-
	5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-	-
	6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.2
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	-	-	4.0
相模原市景観条例に適合。既存の緑地を保存							
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		4.0	0.50	-	-	-
壁面や家具等に県産木材の使用、中庭など中間領域の形成							
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化			5.0	0.30	-	-	5.0
PAL低減率43.1%							
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)			5.0	-	-	-	-
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	-
ERR=53.1%							
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水		4.0	0.40	-	-	-
節水型便器の使用							
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.63	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-
再生アスファルト混合物、再生骨材の路盤使用、陶磁器質タイルの床材使用							
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		5.0	0.20	-	-	-
県産の杉材を内壁や家具等に使用							
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	-
壁は躯体+塗装又は軽鉄下地もしくはGL工法としユニット材を使用							
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.24	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-
泡消火器を使用							
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			3.9	0.33	-	-	3.9
LCCO2排出率は一般的な建物(参照値)に対して76%							
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-
各空調室外機の適正配置によりショートサーキットを防止							
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制		5.0	0.25	-	-	-
適切な駐車場、駐輪場の確保							
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2	風害・砂塵・日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.75	-	-	-
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	-
3	日照障害の抑制		3.0	0.25	-	-	-
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70	-	-	-
屋外広告物を設置しない							
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-
外壁によるグレアを生じない							